

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム やまぶき

作成日： 令和3年3月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ過で面会が制限されている中、家族への情報提供を手厚くする必要がある。	普段の生活状況を、今以上にご家族にご報告する。	○ケアプラン作成時に、生活状況も写真を入れて報告する。 ○やまぶき広報の作成。 ○遠方のご家族にも情報を提供する為、動画配信システムの構築を検討し、実施の方向へ。	通年
2		(目標未達成のため昨年度分から継続) 事故報告書はあるが、再発防止の検討会がないため、危機感を持つことや危険予知能力が乏しい。	事故や急変時における適切な対応を、全職員が周知するとともに、危険予知能力を培う。	○検討会・勉強会の開催 ・事項報告やヒヤリハットの検討会の開催。 ・緊急時等に対する定期的な勉強会の開催。	6 か月
3		(運営上継続的な目標とする) 業務のマンネリ化と固定概念があり、臨機応変に業務ができない。また、施設や施設回り等への気づきが乏しく、無関心さが目立つ。	互いの立場を理解し、互いの長所を尊重し、より気持ちよく働ける職場を目指す。	○月1回は建物周りを歩き、清掃箇所や危険個所の確認と報告をする。 ○春・夏・秋は利用者と外気浴をしながら、花壇には何の花が咲いているかなど把握したり、環境美化に努めるとともに、利用者との交流を深める。	12 か月
4		(コロナ過で思う様に外出できなかったため継続) 利用者の外出の機会が少ない。	利用者の安全や健康状態に配慮しながら、外出の機会を増やす。	○新型コロナウイルス等の終息状況等をみながら、安全に外出できる計画とする。 ○計画実施前には、責任者及び担当者が実施の有無を協議し決定する。	8 か月
5					か月